

マッカーサーと野田総理

アメリカは日本が太平洋戦争で壊滅的な敗北を期してから、わずか三十年余りでアメリカに追いつくはずが無いと思っていました。

なぜこんなことになったのか、アメリカは徹底的に「日本主義」を調べ上げました。結果日本の構造自体

を完全に破壊しない限り、マッカーサーが戦後日本を破壊した以上の、日本人の精神構造を破壊し尽くさない限り枕を高くして寝れないと真剣に悟ったのです。

日本市場はまともでない。慣行を不公正な競争と断定し修正を強要、事前協議を「談合」と非難を重ねる。

集団主義体質と官僚の政治支配を分析。資本でマスコミを間接支配し、日本の伝統や慣習の破壊のため自民を中心とした「保守」を取り込んだ。日本の「保守」は構造改革を先頭に立って支持した。アメリカの再度の占領政策を積極的に支持した日本の「保守」は松下政経塾出身の前原氏を含め、米従属の財務省は墜ちた反动分子です。

そして、地方の駅前に見事なシャッター街を創出し、若者の職場を奪いました。

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
2012年7月2日(月) NO. 258
地域から明るい未来を作ろう

これが今日の現状です。人間は完璧な存在ではありません。合理的に理性的に物事を割り切れるものでもありません。人間の合理性や力には限界があります。現実の世界は、人知を超えたところも多いのです。したがって歴史の中で培ってきた文化に民族に埋め込

現存する国で、世界最古の国が日本です。

その次がデンマーク、三番目にイギリスです。日本は二千七百年、デンマークは一千年、イギリスは九百年、アメリカは二百三十年、フランスは二百二十年余りで、中国は戦後の六十六年です。なぜ日本人は、これほどまでの歴史を重ねられたのか。自然界からの災害や試練、はつきりした四季の恵みの中から形

まれた知恵が、歴史ある日本国家に内在しています。

たとえば、日本では天皇制です。国難や災害時ほど国民の秩序や精神の支柱が維持されたのです。

3・11地震・原発災害の国難に対し、二年目に入っても先が見えませんが、災害国家の精神的支柱なので、日本が元気になることが世界の為になります。

万世一系、秩序の大改革をしようとするれば、社会が大混乱に陥ると思うこの頃です。

成され、共生や和の文化が祖先の体内に育まれたものです。

民が国家への不満を募らせる。と西洋に見る国民の反乱や革命で君主の首が離れた。従い防

備の城壁は高いのが普通です。日本の京都御所は簡単に越えられる。誰も天皇をなくそうとはしなかったのです。

すなわち国民本位の政治を

雇用の創出

明日三日は税務署の定期人事異動の内示日、発令日は例年七月十日です。

特徴的なのは北朝鮮並み、職場に世襲職員が多いのが特徴です。以前は身上申告書の記載に親戚職員の記入が求められていました。それほど多いのでしょうか。石を投げれば・・・です。

この傾向は地方都市の特徴で他官庁でも何処も同じ傾向です？ 地方では若者が働ける場所が少ないのです。

行っていたから防備は必要がないのです。

世界最古の国家

国が守られたのは、「神風」ではなく先人達の努力と知恵で国家の危機を乗り越えてきたのです。国民が努力しない限り、神風は吹かない。神風は吹くものではなく吹かせるものです。

嘘で固めた政治が、民のため国民のための政権が真摯に問うのです。

